

メソポア珪藻土 100%

ナノストーン 高機能床下材

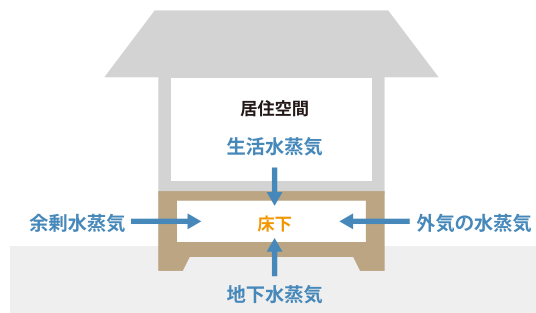
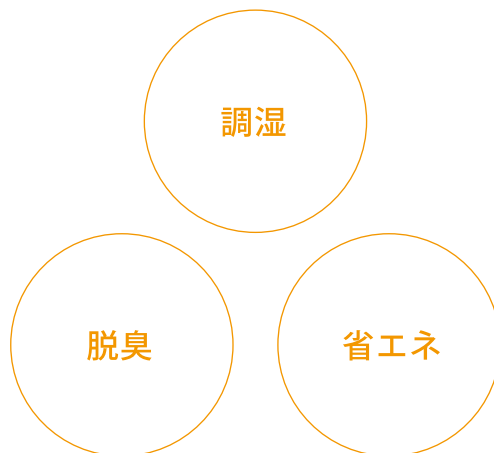
健康で快適な住まいは床下から

住まいを丈夫で長持ちさせるためには、床下など目に見えない所の湿気対策が大切です。現在の一般的な布基礎コンクリートの床下は閉鎖された空間であり、高湿度でじめじめしています。こうした床下は土台や床を腐朽・劣化させるばかりでなく、カビ臭や不快虫の発生によって住む人を不快にし、不健康にします。

病める床下の湿気源とその経路

床下を高湿度にする湿気の源は、主として床下地面から蒸発する地下水と、換気による外気の湿気です。床下地面から蒸発する湿気は気象に影響され、降水量が多く気温の高い夏季に増加しますが、この湿気は床下に防湿シートを敷く簡単な対策によって遮断できます。

一方、床下は換気口とコンクリート躯体を通して外気と換気されるため、高温多湿の夏季ほど多湿になります。現在のような閉鎖型床下の場合、換気口による自然換気では、夏季の高湿度化を防ぐことはできません。湿気による「病める床下」を解消するのが、「ナノストーン高機能床下材」なのです。



ナノストーン高機能床下材とは

Point 01

メソポア珪藻土 100%

北海道道北地方で産出される「メソポア珪藻土」100%の床下材です。

Point 02

床下を過剰な湿度から守る

湿気を自律的に吸放湿し、半永久的に床下の状態を良好に保ちます。

Point 03

悪臭や有害成分を吸着

カビ臭や有害な揮発性化学物質 (VOC) を吸着し、空気を清浄に保ちます。

Point 04

高い吸放湿水分量

湿度域 50%～90%で吸放湿する水分量は、1袋 (10kg) あたり、1kg 以上です。

Point 05

住まいの省エネ効果

夏季に吸収した高熱量の水分を冬に放出。湿気のエネルギー的利用で省エネが可能です。

Point 06

電気不要・メンテナンスフリー

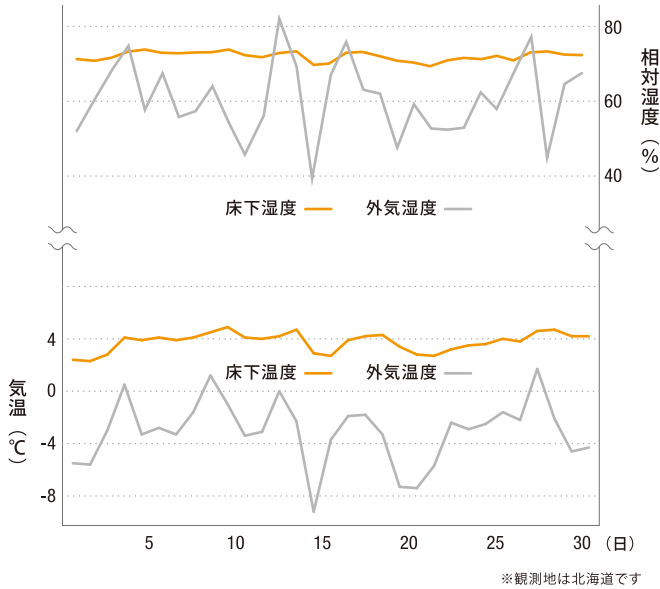
電気などの動力も不要で、交換も不要。解体時もそのまま土に還せます。

数値で分かる調湿・省エネ効果

冬季

1月の床下と外気の 温湿度経日変化

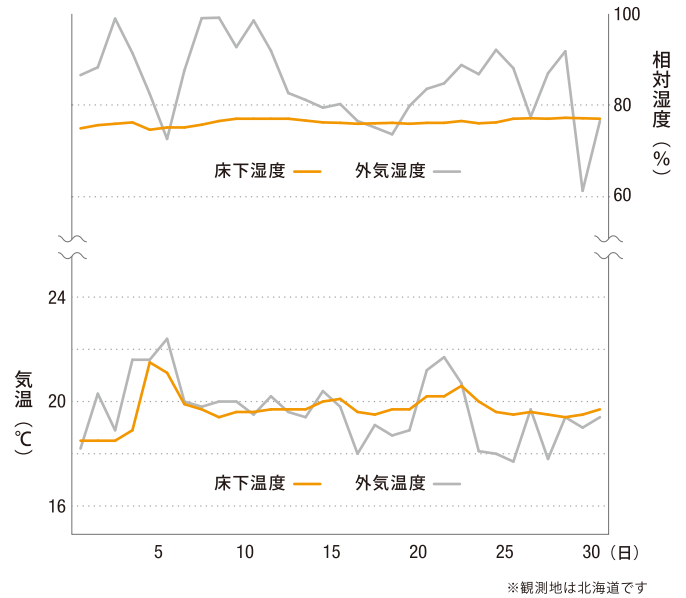
ナノストーン[®]の調湿・保温効果は顕著です。



夏季

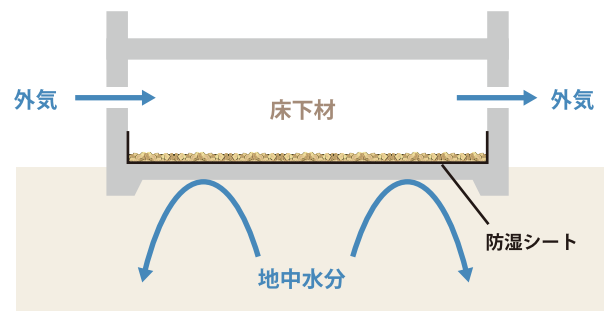
8月の床下と外気の 温湿度経日変化

ナノストーン[®]は高温多湿が続く夏でも、
湿害防止効果を発揮します。



ナノストーンの施工方法

- 1 床下材は、水で濡らさないように管理します。
- 2 原則として、屋根と外壁ができてから施工し、雨などで濡れないようにします。
- 3 床下地面（べた基礎を含む）の全面に、厚さ0.1mm以上の防湿シートを敷きます。
- 4 防湿シートは、その重ね幅を150mm以上とし、隅角部で50mm程度折り曲げられるように、余裕を持たせます。
- 5 床下材は、防湿シートの上の出来るだけ均等に敷設します。
※ 標準施工量：床下面積1m²あたり7kg、施工厚は10mm
- 6 床下材の敷設後、隅角部の防湿シートを折り曲げて床下材の上に被せます。
- 7 施工後に床下材が水で濡れた場合は、良く乾燥します。



※ 施工後、換気口は一年を通じて閉じておくことが重要です。
閉空間にした床下ほど、床下材はその効果を発揮します。